

## 第264回研究科委員会・第377回教員会議議事要録

日 時：令和6年11月13日（水） 研究科委員会 12：50～13：05／  
教員会議 13：45～15：00

※会議の間にコンプライアンス教育あり（13：15～13：45）

場 所：後援募金記念棟 会議室1-3

議 題

### ◆研究科委員会◆

[審議事項]

#### 1. 教務委員会

(1) 令和6年度非常勤講師計画について

資料1に基づき説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

#### 1. 研究科長

(1) 研究科長候補適任者の選出について

まず、研究科長から資料2-1の申し合わせに基づき、選出の進め方について説明があった。前回の進め方を踏襲することを人事委員会で確認したことが紹介された。続いて、資料2-2に基づき日程を確認した。質問等は無かった。

#### 2. 教務委員会

(1) 令和6年度10月期入学大学院研究課題等一覧について

資料3に基づき説明があった。履修パターンは専門性重視型である。質問等は無かった。

#### 3. 学生生活委員会

(1) 入学料徴収猶予選考について

プロジェクター投影により説明があり、申請者1名について許可されたことが報告された。質問等は無かった。

[その他]

#### 1. 学生生活委員会

(1) 学生生活実態調査について

資料4に基づき説明があった。資料記載のとおり、実施期間等について決定したので、この内容を学生に周知いただきたいとのアナウンスがあった。質問等は無かった。

(2) 学生の状況について

委員長より本学学生について紹介があった。

### ◆教員会議◆

[審議事項]

#### 1. 学類長

(1) 学類長候補適格者の選出について（投票）

最初に、規則・規程に基づき選出方法について説明があった。質問等はなく、引き続き投票を行った。投票結果より、上位5名が本選挙の対象者となることが決定した。

(2) 研究員（プロジェクト）の任用について

プロジェクター投影により説明があった。質問等はなく、提案通り承認された。

[報告事項]

#### 1. 学類長

(1) 教員の任用について

1) 選考日程並びに教員選考委員会の提案について

学類長から現在の応募状況が紹介され、さらに今後の予定について説明があった。

(2) 教員の昇任について

1) 教員の昇任について

本件については10月9日の教員会議で報告し、10月21日に申請シートの提出を締切り、その日に人事委員会を開催した。人事委員会において研究業績についても整えて提出してもらうこととし、10月30日の人事委員会で再度議論した。理工学類での業績基準に関する申し合わせに基づき、基準を満たしている方について、全学に推薦することとした。以上の報告について質問は出されなかった。

2. 人事委員会（学類長）

(1) 令和6年12月期における期末手当及び勤勉手当の加算該当者の推薦について

プロジェクター投影により説明があった。

(2) 令和6年12月期勤勉手当に係る「勤務成績が特に優秀な職員」

及び「勤務成績が優秀な職員」（教育職員）の推薦について

プロジェクター投影により説明があった。

3. 教務委員会

(1) 学生の休学について

プロジェクター投影により説明があった。

(2) 第122回全学教務協議会について

（審議事項）

・令和7年度開講計画の策定にあたって

資料6に基づき説明があった。

4. 奨学寄附金等の受入について

奨学寄付金：1件、受託研究：1件の受入が報告された。

[その他]

1. 学生生活委員会

(1) 学生生活実態調査について

資料4に基づき説明があった。実施期間や調査方法が決定したので、学生に周知してほしいとの依頼があった。

2. その他（学類長）

・11月2日に保護者との懇談会を実施し、43名の参加があった。詳細は次回の教員会議で報告する予定である。

・社会的インパクト評価について、既に何件かの申請をいただいているが、次期中期目標との関連も考えられるので、より多くの申請を行いたいと考えており、今後執行部から対象者に声掛けしたいと考えている。

・働き方改革に伴う法律の施行において、年5日の年次有給休暇の確実な取得が義務化されているので、年内に必ず履行するよう依頼があった。

◆教育研究評議会◆

○第423回（10月22日開催）報告

【議題】

(1) 【審議】内閣府「地方大学・地域産業創生交付金事業」への申請について

学類長から、資料1に基づき説明があった。最初に、申請に至る経緯について説明があった。資料1-1により事業の概要について説明があった。次に、別資料（申請資料の抜粋版）を用いて申請内容についての説明と今後のスケジュールについて紹介があった。

(2) 【報告】令和7年度科研費申請状況について

資料2に基づき説明があり、全学として新規申請件数や申請率が増加した。資料2-1に基づき詳細な情報について説明があった。申請状況の推移について、全学と各学類のトレンドの説明があった。ま

た、年齢別の申請状況についても説明があった。

(3) 【報告】令和6年度全学研究FDの開催について

資料3に基づき、10月31日に実施されたとの説明があった。資料3-1は実施内容についての文書であり、既に確認したものである。

(4) 【報告】令和6年度監事監査計画について

資料4に基づき概要の説明があった。さらに、資料4-1に基づき監査計画の詳細な説明とスケジュールの紹介があった。

(5) 【報告】教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画について

資料5に基づき説明があった。特にコンプライアンス教育を実施することとしており、理工学類は本日実施したものである。テストの回答を忘れずに提出いただきたいとのアナウンスがあった。

(6) 【報告】教育研究費の不正防止計画実施状況の確認について

資料6に基づき説明があり、実施状況報告書の締切は12月27日である。資料6-1において、基本方針(学長裁定)の紹介があった。

(7) その他情報共有等

資料7-1(内部監査計画書)について、監査内容について説明があった。22名の教員について調査するので協力いただきたいとの発言が学長からあったことが紹介された。

◆運営会議◆

○開催なし

最後に、学類長から12月4日の教員会議は重要な案件があることに加え、開始時間も14時からとなっているので注意願いたいとのアナウンスがあった。